

発達障害支援連続セミナー

自閉症（発達障害）のよりよき支援を願って Part 2

基調講演：内山登紀夫先生



「本当のTEACCH」～構造化の誤解を解く～

平成24年6月に開催した「発達障害支援連続セミナー第1回」では、佐々木正美先生をお招きし、
《自閉症の特性の理解と適切な支援》についてお話しいただきました。

発達障害や自閉症（発達障害のひとつ）の方たちの、困った行動（不適応行動）をやめさせるのではなく、出来る事や得意な事を活かして、受け入れられる良い行動を広げて行く事の大切さや、特性を理解することが適切な支援の前提になる事をお話しいただきました。『発達障害の人は、発達障害のまま生きていいんだ！』というお言葉には、深く考えさせられました。

第2回の発達障害支援連続セミナーでは、よこはま発達クリニック院長である内山登紀夫先生をお招きし、障害特性に切り込んだお話をさせていただきます。

『自閉症は複雑で、簡単に理解できるわけではありません。立ち向かうのは容易ではありませんし、療育者側に柔軟な発想・知識・技量・テクニックが求められます。』と、内山先生がおっしゃるように、発達障害や自閉症の方たちには、障害特性に合った支援が必要です。また、弱点を補うように環境を整えること（構造化）や、状況に応じて柔軟に対応できる環境整備が大切です。この講演ではTEACCHの誤解を解き、「構造化とは何か？」という基礎をお話しいただきます。

日 時： 平成25年2月16日（土）13時30分～16時30分

場 所： サンワークかながわ 2階 大会議場にて

講 師： 内山登紀夫氏（児童精神科医）

定 員： 180名（先着順）定員になり次第締め切り。

キャンセル待ちは受付順に行い、整理番号を発行いたします。

※ 申し込みが確認できましたら、受付番号を発行いたします。1週間以内に連絡がない場合は、お問い合わせください。

※ 事前申し込みなく、当日のご来場はご遠慮ください。

主 催： 社会福祉法人あおぞら共生会

後 援： 川崎市自閉症協会、川崎市発達相談支援センター